

# 持続可能社会のバックキャスティング 手法に関するセミナー

- 【趣旨】 これまで将来計画を策定するとき、行政その他いかなる組織でも、多くは現状を出発点として可能な対策を積み上げる手法がとられてきました。しかし、これからの低炭素（持続可能）社会の計画づくりでは、まず“2050年にCO2排出量50%削減”といった、長期の目標を設定しそこに到達するための施策・対策を体系化しなければなりません。そのような新たな計画のために提起されているのが“バックキャスティング”による手法です。これには、
1. 「スナップショット（目標年における政策のセットと社会像）」を描くこと、
  2. 「ロードマップ（目標にいたるまでの道筋）」を探索すること、
- の二つの段階があります。
- しかし、これらの作業はまだなじみが浅く、また数理的な計算を必要とすることなどから取り組みにくく感じられる方も多いと思われます。そこで、新たに開発した一連の計算手法を紹介し、さらに実際の地域データを使った実習も加えて、理解を深めていただくためのセミナーを企画いたしました。自治体や持続可能社会づくりの計画に関わる、様々な組織の方々の参加をお待ちしております。

【日時】 平成21年8月28日（金） 10:00～16:30

【会場】 メルパルクKYOTO 6階会議室D（裏面参照）

- 【プログラム】 10:00 開会および国の状況説明  
内藤正明（NPO法人循環共生社会システム研究所）  
および来賓調整中
- 10:45 低炭素社会へ向けた世界と日本の動き  
藤野純一（独立行政法人国立環境研究所）
- 11:45 地方自治体の低炭素社会計画・研究の事例紹介  
五味 馨（京都大学大学院地球環境学舎）
- 12:30 <昼休み>
- 13:30 スナップショット・ロードマップ構築手法の解説と研修  
五味 馨（京都大学大学院地球環境学舎）
- 15:45 市民参加によるビジョンづくりの事例  
金 再奎（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）  
岩川貴志（NPO法人循環共生社会システム研究所）
- 16:30 閉会

※研修を希望される場合は、パソコン（Microsoft Excelがインストールされているもの）をご持参下さい。  
演習用ファイルは当日会場で配布いたします。また自地域のデータを使っての作業を希望される方は事前にお知らせ下さい。後ほど必要なデータを連絡いたします。

【参加料】 参加費3,000円＋資料代1,000円（KIESS会員は資料代1,000円のみ）  
※郵便振替用紙をお送りしますので事前にお振込み下さい

【定員】 50名（先着申込順）

【主催】 NPO法人循環共生社会システム研究所（KIESS）/JST「地域に根差した脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域「滋賀をモデルとする自然共生社会の将来像とその実現手法」研究開発プロジェクト / 京都大学工学研究科大気・熱環境工学分野松岡研究室

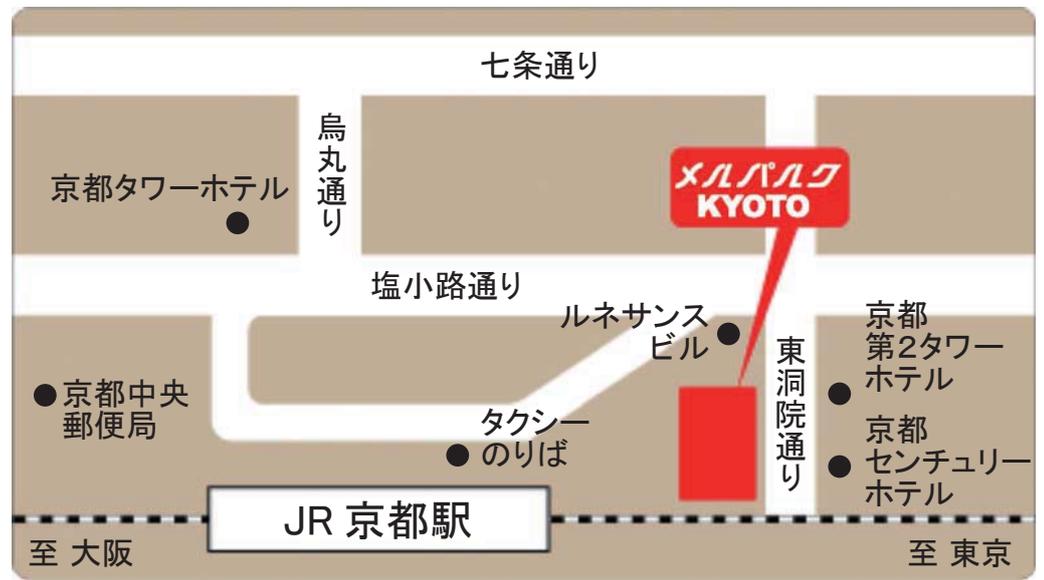
【お問い合わせ】 NPO法人循環共生社会システム研究所（担当：佐藤、武井）  
606-8386 京都市左京区新丸太町42番 / TEL:075-752-1133  
※メール（kiess2005eco@yahoo.co.jp）またはFAX(075-752-1153)にてお問い合わせください

## 【会場案内】

メルパルクKYOTO  
6階会議室D

〒600-8216  
京都市下京区東洞院通七条  
下ル東塩小路町676番13  
(JR京都駅前すぐ)

TEL : 075-352-7444 (代)  
FAX : 075-352-7390



## 【申込方法】

この申込書をファクシミリにてご送信いただくか、電子メールにて

[kiess2005eco@yahoo.co.jp](mailto:kiess2005eco@yahoo.co.jp) まで下の必要事項をご記入の上、お知らせください。

## 持続可能社会のバックカスティング手法に関するセミナー FAX申込書

宛先：NPO 法人循環共生社会システム研究所 075-752-1153

フリガナ	
名前	
住所	〒
所属	
電話番号	
FAX 番号	
e-mail	
自地域でのデータ 計算の希望	有 無